

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|--|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 1 | | |
| 科 目 名 | 医療コミュニケーション | | | | |
| 担 当 者 | 谷口英明 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 3.3 | 4.6 | 4.5 | 4.5 | 4.5 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>前期の必修コミュニケーション論を発展応用し、後期は医療現場に特化した本科目を選択履修してくれたことに感謝します。授業内容ではコミュニケーション論と同様、毎回席を変えてグループディスカッションを行ったことが良かったという声を多くいただきました。学んだことを将来、実習の際に役立てていただけたら幸いです。実践しなければ意味はありません。最後に「本当のプロフェッショナルとは、平常心よりも”良い緊張感”をもって仕事に臨む」私はそう思います。頭の片隅に置いておいてください。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|---|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 3 | | |
| 科 目 名 | 救急医学概論 | | | | |
| 担 当 者 | 木村英理 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 4.0 | 4.8 | 4.7 | 4.5 | 4.8 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>この科目では、救急医療の概論をはじめ、日常生活で生命の危機に瀕した人に対する処置、そして診療放射線技師として救急医療に携わるために必要な知識や技術について、講義形式で行いました。開講時期が臨床実習直前でもあり、救急医療の現場の緊迫感や実際の手技などをリアルに感じてもらうために、動画やケース、臨床画像などを多く取り入れました。特に、業務拡大の一環として、診療放射線技師による読影の補助、救急医療における STAT 画像の報告などの取り組みも行われていることから、生命の危機に関わる重要な所見については特に時間をかけて解説を行いました。その効果もあってか、11 月から始まった臨床実習では、複数の学生さんからこの科目で学んだことが実際に役に立ったと耳にし、科目担当者としてとても嬉しく思います。</p> <p>一方で、X 線画像における所見を説明する際の画像について、授業では 1 ページあたり 4 コマのプリントもしくは PDF ファイルを配布しておりましたが、プリントの画質が非常に悪いとの指摘を多数いただきました。8 号館に導入されている印刷機にて高精細モードで印刷をしていますが、現在導入されている印刷機では今以上の画質で出力することができない状況です。学修効果を高めるためにも配布資料の画質改善、i-Pad 等による閲覧を進めるなど改善していければと思っております。</p> <p>私が診療放射線技師として勤務していた際に、チーム医療の実践、診療放射線技師としての使命を特に強く感じたのは救急医療でした。私の授業がみなさんの将来に少しでも役に立てれば幸いです。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|--|------------------|------------------|------------------|------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 2 | | |
| 科 目 名 | X線撮影技術学Ⅲ（CT） | | | | |
| 担 当 者 | 木村英理 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリーⅠ (学生自身) | カテゴリーⅡ (授業内容) | カテゴリーⅢ (授業方法) | カテゴリーⅣ (学修成果) | カテゴリーⅤ (総合評価) | |
| 3.9 | 4.3 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>X 線 CT 検査は、空間分解能が高く、検査時間が速く、3D 画像などの画像処理を行うことでより詳細な体内情報を提供することが可能です。そのため、病変の有無のみならず、鑑別診断や術前シミュレーション、経過観察など、現在の医療では欠かせない重要な検査となっています。その一方で、被ばく線量の増加や膨大なデータ量、アーチファクトの問題が出てきています。</p> <p>私は、大学の時に受けた CT の授業と臨床実習がとても面白くて、診療放射線技師になったら絶対 CT を担当したいと強く思いました。運よく 1 年目から CT を担当することができ、そして今はみなさんに CT を教えることができ本当にうれしく思います。</p> <p>診療放射線技師は、見えない病気を写し出す「病気の第一発見者」です。医師よりも先に画像を目にします。そのために、私たち診療放射線技師には、X 線 CT 装置の管理や画質の調整、造影剤量やタイミング、検査手法、3D 画像処理などの知識・技術のみならず、読影する力も必要となってきます。</p> <p>この科目では、できるだけみなさんに興味を持ってもらえるように、また、理解してもらえるように授業の補助教材としてスライド資料、まとめプリント、動画資料を公開しました。しかしながら、これらの資料を、定期試験までに十分に活用しきれなかった学生さんが散見されました。</p> <p>今後は、よりみなさんが興味を持ち、そして主体性を持って学修できる授業を展開できるよう頑張りたいと思います。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|--|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 2 | | |
| 科 目 名 | 画像診断機器学実習 I | | | | |
| 担 当 者 | 木村 英理 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 4.5 | 4.4 | 4.4 | 4.5 | 4.4 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>この実習では、「画像診断機器学 I」「画像診断機器学 II」をはじめ、講義（座学）で学んだことを実際に実習で体験することで、知識や技術を定着させることを目的としています。ガイダンス等で説明をしましたが、画像診断機器学は国家試験の科目であり、200 問中 20 問を占める重要な科目ですが、科目の特性上理解が難しく、学生さんが非常に苦戦する科目です。また、大型の医療機器と放射線を用いて検査や治療に携わる診療放射線技師にとってもとても重要な科目です。病院では、検査で使用する機器や画質の管理は、私たち診療放射線技師がその役割を担っています。機器の管理をおろそかにしていると、画質の低下によって指摘できる病変が指摘できなくなったり、被ばく線量が増加したり、時には大きな事故にも繋がってしまい、患者さん自身のみならずその予後にも大きく関係することとなります。この時、患者さんのすぐ傍で機器を操作し検査や治療に携わっている私たち診療放射線技師が知らない・分からないでは通用しません。そのためこの実習では、臨床や国試で重要とされている項目を中心に実習内容を決定しています。決して難易度の高すぎる実習内容ではありません。2 年生が終了し、「座学」が終わり、「実習」が終わりました。次は医療現場でこれらの大型機器をどのように駆使し検査や治療が行われているのか、臨床現場で学ぶこととなります。その準備はできていますか？もし、「座学」「実習」が終わってもまだ知識や技術が定着できていない学生さんは、今一度この科目の重要性を認識していただき、ぜひこの機会に座学からの復習をしてみてください。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|--|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 2 | | |
| 科 目 名 | 医療英語 | | | | |
| 担 当 者 | 山崎麻由美 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 3.5 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>授業は伊藤先生と寶部先生も担当してくださいました。伊藤先生と寶部先生がそれぞれ専門の解説をしてくださって、英語の文法や表現は山崎が担当するという形で進めました。各検査の英語の動画も伊藤先生と寶部先生が解説付きで流してくださったので、その後の英文解釈の助けになったのではないのでしょうか。また先輩方が実際に英語で患者対応をしている動画も見てもらいました。授業内の教材というだけでなく、職場で英語対応をする場面になったときに思い出してもらえれば嬉しいです。</p> <p>授業の最初にも言いましたが、診療放射線技師養成のための英語のテキストは市販されていません。そのため伊藤先生が中心となってテキストを作成しました。皆さんのテキストは、現場でよく使われる会話が中心になっています。またその他の練習問題も現場で役に立つだろうというものを集めています。これからも利用してほしいと思います。</p> <p>授業の仕上げとしてグループワークで会話を作成し、その成果をネイティブの先生に披露してもらいました。時間の関係で全グループに発表してもらうことはできなかったのが残念でした。発表してくれたグループはいずれもよくがんばってくれました。また他のグループも提出された原稿を見ると、これまで学んだことをしっかり覚えていてくれたということがわかりました。</p> <p>「医療英語」で学んだことはこれから先に必要な英語のほんの一部にしか過ぎません。伊藤先生と寶部先生がお話くださったように「英語が必要な時」は往々にして突然やってきます。臨床現場で戸惑うことがないように、この授業のテキストを時々ふり返ってください。医療に携わると英語は必ず必要になってきます。将来にわたって学び続けてくれることを願っています。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|---|-------------------|------------------|------------------|------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 2 | | |
| 科 目 名 | X線撮影技術学Ⅱ（透視・造影検査） | | | | |
| 担 当 者 | 倉本 卓 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリーⅠ （学生自身） | カテゴリーⅡ （授業内容） | カテゴリーⅢ （授業方法） | カテゴリーⅣ （学修成果） | カテゴリーⅤ （総合評価） | |
| 3.9 | 4.3 | 4.2 | 4.2 | 4.3 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>高度な内容を学ぶ専門科目や実習が開催される中、皆様よく学習されていたと思います。お疲れさまでした。</p> <p>学生による授業評価調査における、「この授業でよいと思った点」に関して、本当に多くのコメントいただきましたこと、大変うれしく思います。また、総合評価においても、非常に高い評価を頂いたこと、大変光栄に思います。ありがとうございました。私の講義を通じて、本講義内容の重要性と共に、診療放射線技師の魅力や、やりがいなどを、臨床現場にいた経験者として皆さんに少しでも伝えられていたらうれしく思います。</p> <p>また、「この授業で改善すべきだと思った点」に関して、いくつかコメントを頂きました。それぞれのコメントに対し、真摯に検討し、今後の講義方針に織り込んでいければと考えています。今後多くの意見を頂けたら幸いです。</p> <p>2年生になり、専門科目が多く急に難しい講義が増えたように感じられているかもしれませんが、皆様は3年後には医療現場の最前線に立つこととなります。ここで学んだことは、臨床業務に直結することばかりです。少し先の未来を見据え、目標をもって日々を過ごしてください。また、分からない問題や、悩みに対して、自ら考え取り組む習慣について、少し意識した行動を心掛けてください。これからも皆さんの成長のお手伝いができると思っています。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|--|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 1 | | |
| 科 目 名 | 対人援助論 | | | | |
| 担 当 者 | 江崎ひろみ | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 3.6 | 4.6 | 4.6 | 4.5 | 4.6 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>毎授業ごとのミニツツペーパーへのコメントや本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。</p> <p>本科目は 1 年後期後半で、放射線技師がどのように対象（患者やその家族）へ安心をもたらす安全・安楽な対応をされているのか、これから本格的に学ばれることと思います。本講義で、実際に患者から療養体験を聴くことで、患者の立場に立って考えることも出来たのではないのでしょうか。対象（患者）に触れ、対象（患者）の安全を守るには、まずは観る視点が必要となります。本授業で得た基本的な知識を「観る視点」のひとつとしてもらい、自分で観る・気づく・考察する・工夫する・考えを伝える（記述する）ことに活かしてもらいたいと思います。</p> <p>（江崎）</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|--|------------------|------------------|------------------|------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 2 | | |
| 科 目 名 | 診療画像検査学Ⅱ（超音波・眼底） | | | | |
| 担 当 者 | 浦 みどり | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリーⅠ (学生自身) | カテゴリーⅡ (授業内容) | カテゴリーⅢ (授業方法) | カテゴリーⅣ (学修成果) | カテゴリーⅤ (総合評価) | |
| 3.8 | 4.2 | 4.3 | 4.2 | 4.3 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>授業評価にご協力いただき、ありがとうございました。また、小テストを通して、授業へご意見など沢山のコメント、ありがとうございました。評価はR科の平均的な評価と同等ですが、皆さんが一生懸命授業に取り組んだ成果が現れていると思います。</p> <p>限られた時間の中で、超音波の楽しさを十分に伝えられたか、国試問題を意識し過ぎた内容に偏っていないかなど、反省は尽きませんが、特に「学修成果」という最も重要な項目については、過去の学生さん達と比較すると、改善の余地があると思われます。授業や試験の難易度を上げたり、事前・事後学修を増やしたりして、皆さんがより確かな成果を得られるような工夫が必要だと感じる結果となりました。</p> <p>また、授業のレベルについては、国家試験問題を網羅していますので、今の皆さんの知識で、今年度のエコー・眼底の分野の国家試験問題は、かなり解けるはずです。春休み中にでも取り組んでみてください。きっと実力がついたことを実感できると思いますよ！</p> <p>また、小テストの際に皆さんから沢山の嬉しいコメントや次に生かしたいご助言を頂けたので、授業内で少しずつですが改善できたように思います。特にクイズでは、皆さんも毎回意欲的に取り組んで頂きましたので、頂いたコメントに沿って国試の過去問や類似問題をより多く作成し、小テストについては、暗記以外は出来るだけ解説の時間を取るようにしました。コメントでも多くの皆さんから「解説が良かった、説明が分かりやすかった、(小テストがあるので)試験に取り組みやすい」などなど前向きな評価を頂きました。また、超音波検査に興味を持った、というコメントも沢山いただけたことは、非常に嬉しく思っております。ありがとうございました。</p> <p>「授業のレジュメと教科書で復習しておいて下さい」というスタンスで、授業では足りないように感じていた「自分で調べ、考える姿勢」を養うために、自分で復習をして頂きたいと思いましたが、上記のように、解説が良かったとのコメントを多々拝見し、皆さんの自主的な取り組みを期待するだけでなく、少しずつでも解説をする機会を設けて双方向で理解を確認していくと、皆さんの学修効果や知識の定着率が高まるように感じられました。今後も時間配分や自主性と学修効果のバランスを考えながら取り入れたいと思います。貴重なご意見、ありがとう</p> | | | | | |

ございました。

もし、4年生の国試対策等で皆さんにお会いできるようでしたら、また一緒に勉強しましょう。半年間、ありがとうございました。

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|---|------------------|------------------|------------------|------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 2 | | |
| 科 目 名 | 核医学検査 技術学Ⅱ | | | | |
| 担 当 者 | 對間博之 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリーⅠ (学生自身) | カテゴリーⅡ (授業内容) | カテゴリーⅢ (授業方法) | カテゴリーⅣ (学修成果) | カテゴリーⅤ (総合評価) | |
| 3.8 | 4.1 | 4.3 | 4.1 | 4.2 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>ご意見ありがとうございます。例年よりも授業スピードを落とし前回授業の反復も行いながら授業を行いました。学修成果を実感いただけていないようなので改善をしたいと思います。資料のパスワードについては、臨床画像に関する著作権等の問題もありますが、改善策を考えていきたいと思っています。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|--|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 3 | | |
| 科 目 名 | 放射線安全管理学 | | | | |
| 担 当 者 | 市川尚 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 3.6 | 4.3 | 4.5 | 4.2 | 4.3 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>放射線安全管理学担当の市川です。</p> <p>授業評価について、多くのコメントをくれてありがとうございました。</p> <p>みなさんのご意見のおかげで授業改善につながっています。</p> <p>4年生では国家試験対策でお世話になります。国家試験での放射線安全管理学の平均点を80%以上にすることを目標に、皆さんにとって価値のある授業を行えるように準備を進めます。</p> <p>これからもよろしくお願ひします。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|---|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 3 | | |
| 科 目 名 | 関係法規 | | | | |
| 担 当 者 | 市川尚 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 3.5 | 4.2 | 4.4 | 4.2 | 4.5 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>関係法規担当の市川です。</p> <p>授業評価について、多くのコメントをくれてありがとうございました。</p> <p>みなさんのご意見のおかげで授業改善につながっています。</p> <p>4年生では国家試験対策でお世話になります。国家試験での放射線安全管理学の平均点を80%以上にする事を目標に、皆さんにとって価値のある授業を行えるように準備を進めます。</p> <p>これからもよろしくお願ひします。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|---|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 1 | | |
| 科 目 名 | 情報メディア演習 | | | | |
| 担 当 者 | 長又 新 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 3.4 | 4.1 | 4.1 | 4.3 | 4.2 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>この科目では、大学生活だけでなく、社会人や診療放射線技師として働く際にも役立つ PC 操作や ICT 活用スキルを学びました。授業で習ったことを、まずは実験実習のデータ整理や、友人とのレポート内容に関する議論など、積極的に活用してください。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|--|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 2 | | |
| 科 目 名 | 診療画像検査学 I (MR) | | | | |
| 担 当 者 | 金本雅行 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 3.9 | 4.1 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>授業評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。多くの貴重なご意見をいただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>2 年後期は実習や専門科目が増え、学修の負担も大きかったと思います。そのような中でも、皆さんが最後まで粘り強く取り組んでくれたことを大変頼もしく感じました。</p> <p>本授業では、前期に MRI の原理や撮像技術の基礎を学び、後期には各領域における検査法や得られる画像の特徴、さらに解剖や代表的な疾患について学修しました。MRI は撮像法が多く、最初は混乱しやすい分野ですが、復習を重ねることで理解が確実に深まります。臨床実習に向けて、引き続き一つずつ整理しながら取り組んでいきましょう。</p> <p>アンケートでは、「配布資料のスライドを大きくして各自で復習しやすくなった」「小テストの解説時間が十分に取られてよかった」「授業の最後に要点のまとめがあり理解しやすかった」など、授業運営に関する前向きなご意見をいただきました。</p> <p>一方で、改善点として「画像に○○強調画像などの表記を明記してほしい」「画像が小さく断面が分かりづらかった」といったご指摘もいただきました。次回からは、画像の表示方法や注記（強調・シーケンス名、断面など）をより分かりやすくするなど、工夫して改善に取り組みます。</p> <p>改めまして、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の授業改善に活かしてまいります。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|---|--------------------|---------------------|--------------------|-------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 1 | | |
| 科 目 名 | 放射線生物学 I | | | | |
| 担 当 者 | 金本雅行 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリー I (学生自身) | カテゴリー II (授業内容) | カテゴリー III (授業方法) | カテゴリー IV (学修成果) | カテゴリー V (総合評価) | |
| 3.5 | 3.9 | 4.0 | 4.1 | 4.2 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>授業評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。多くの貴重なご意見をいただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>後期になり大学生活にも慣れてきた一方で、専門的な授業が増え、学修の負担が大きくなってきたことと思います。そのような中でも、皆さんが継続して努力してきたことを大変頼もしく感じました。</p> <p>放射線生物学は、放射線治療を理解するうえで重要な基礎となる、いわば架け橋となる科目です。今回の「放射線生物学 I」では、生物学の基本的な内容を中心に学修しました。2年次以降は専門科目や実習の割合がさらに増えていきますので、今の段階で苦手意識をできるだけ減らし、復習を通じて理解を確かなものにしていきましょう。</p> <p>アンケートでは、「最後のまとめ資料がよかった」「人生のためになることを多く学べた」などのご意見をいただきました。一方で、改善点として「毎回授業資料がほしい」「マイクの音量が小さいので上げてほしい」「問題演習の時間がほしい」といったご指摘もありました。</p> <p>次回以降は、毎回の授業資料の配布、聞き取りやすい音量での講義、理解を深めるための問題演習の時間確保などに努め、より学びやすい授業づくりを進めてまいります。</p> <p>改めまして、貴重なご意見をありがとうございました。今後の授業改善に活かしてまいります。</p> | | | | | |

学生へのメッセージ

| | | | | | |
|---|------------------|------------------|------------------|------------------|--|
| 学 科 | 診療放射線学科 | 学 年 | 1 | | |
| 科 目 名 | 医用工学Ⅱ（電子工学） | | | | |
| 担 当 者 | 関 雅 幸 | | | | |
| カテゴリー別授業評価調査結果 | | | | | |
| カテゴリーⅠ (学生自身) | カテゴリーⅡ (授業内容) | カテゴリーⅢ (授業方法) | カテゴリーⅣ (学修成果) | カテゴリーⅤ (総合評価) | |
| 3.5 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 4.3 | |
| 学生へのメッセージ | | | | | |
| <p>学生による授業評価調査は「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった。」「授業はわかりやすい内容であった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。</p> <p>一昨年、昨年もそうだったのですが、欠席が多い人が目につきました。持病がある方は仕方ありませんが、何のために通っているのかをよく考えてください。2年次以降どんどん学ぶ内容は難しくなっていきますので、しっかり授業に出てください。</p> | | | | | |